科目名	生産管理論A　　Production Management A						
科目担当者	奥村 憲博　　OKUMURA Norihiro						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修○					ディプロマポリシーとの関連	(1)(3)

授業の概要	日本の生産管理は，かつて世界最高水準であり，工業立国として日本製造業の強みの一つであった。 しかしながら、21 世紀にはいって、その劣化が著しく、日本産業再生の喫緊性及び重要性が拡大していることから，生産管理の企業活動における位置づけ，生産管理の概要、品質・時間・調達等の個別の管理活動までの考え方・構造について理解し、21 世紀の製造業の在り方の方向性について考えられるようにする。
授業の到達目標	①日本の製造業の生産管理が世界最高水準を確保していた時代から劣化している現状を把握し、グローバル化及びデジタル化が急速に進展する 21 世紀における製造業的観点からの国際的視野とあるべき態度(人間性・教養・国際的視野)を理解する。 ②また、日本の製造業の現状と課題を踏まえ、日本産業再生へ向かって、その課題解決・改善に向けて主体的に対応する力(課題発見力・問題設定力・思考力・ソリューション提案力)を涵養する。

授業計画・内容		
	1	ガイダンス
	2	生産とは
	3	生産管理とは
	4	生産計画
	5	生産統制
	6	需要予測
	7	製品計画１：　研究開発、製品企画、製品設計
	8	製品計画２：　新製品開発、製品のライフサイクル、多品種化
	9	資材管理１：　資材管理の対象、購買・外注業務、購買業務、外注業務
	10	資材管理２：　検収業務、保管業務、運搬業務
	11	設備管理１：　機械化と設備管理、生産手段の種類保全活動等
	12	設備管理２：　設備管理の合理化、取り替え問題、レイアウト等
	13	品質管理１：　品質管理の歴史、品質、品質コスト、統計的品質管理等
	14	品質管理２：　QC ストーリー、ISO9000、製造物責任等
	15	まとめ

授業外学修 (事前学修)	毎回，Moodle に投稿されるプレゼン資料を予習し、講義内での意見、質問等をノートにまとめておく（毎週 2 時間程度）。
授業外学修 (事後学修)	毎回，授業内容を復習し、それに関連する事例を新聞，テレビやインターネット等における国内外報道を検索し、ノートに追記する（毎週 2 時間程度）。

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験 平常点（講義中の質疑・発言等）	80% 20%	①、② ①、②

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	原則として教科書やテキストは使わない。パソコンのパワーポイント・ソフトを使って講義する（毎回 Moodle にプレゼン資料投稿)。
参考文献	西尾 篤人　著『生産管理論』創成社
その他	